

三重県小児セラピー研究会第2回

日時 2017年6月25日(日) 13:00~16:35(受付12:30~)

場所 鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス

参加人数 130名



共催 三重県小児科医会、三重県医師会、三重県理学療法士会、三重県作業療法士会、三重県言語聴覚士会、
三重県訪問リハビリテーション協議会、三重県訪問看護ステーション連絡協議会、

三重県立子ども心身発達医療センター、三重大学医学部附属病院小児トータルケアセンター

後援 三重県



●開会のご挨拶

二井 英二

鈴鹿医療科学大学保健衛生学部理学療法学科



●実行委員長

岩本 彰太郎

三重大学医学部附属病院小児トータルケアセンターセンター長



●総合司会

谷川 公一

伊勢志摩リハビリテーション専門学校



●施設の取組

NICU施設における新生児セラピーの実践 現状と課題

演者：山口 留実香

国立病院機構三重中央医療センター 作業療法士



座長：多田 智美

鈴鹿医療科学大学保健衛生学部 理学療法学科



●ミニレクチャー1

おもちゃは友だち コミュニケーションツールとしてのおもちゃ

演者：高倉 利恵

理学療法士 MHSC. DPT. 桑名東医療センター



座長：熊谷 ちほり

専門学校 ユマニテク医療福祉大学校 作業療法学科



●ミニレクチャー2

バイオメカニクスからみた運動科学 歩行の未来 新時代へ

演者: 畠中 泰彦

鈴鹿医療科学大学保健衛生学部理学療法学科 学科長



座長: 西村 淑子

三重県立子ども心身発達医療センター 整形外科



●閉会のご挨拶

田中 一彦 三重県作業療法士会 会長



～第2回三重県小児セラピー研究会を終えて～

事務局 訪問看護リハビリステーション桜 寺島 秀幸

「新生児から小児まで繋がるセラピー」というテーマにて、第2回三重県小児セラピー研究会が開催されました。第1回の研究会アンケート調査でのご意見やご要望をもとに、運営メンバーで会議を重ね今回の企画内容となりました。今回も多くの方にご満足をいただき、非常に盛り上がった研究会となりました。特に研究会の終了後に声をかけていただいた参加者の方々が、「良かった」という言葉ではなく「凄かった」と表現されていました。3人の演者の方と3人の座長の方が、小児セラピーの様々な視点と可能性を十分にお伝えしていただいただけでなく、それぞれの方の小児分野への想いが伝わるものであったからではないでしょうか。今後も、小児の経験の有無を問わずみんなと一緒に、小児セラピーのことを深く考え理解できるような会を開催し、子供たちの未来の可能性を最大限に引き出せるように取り組んで参ります。ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。